

●食品安全健康学科

1. 教育研究上の目的

本学科は、食の安全と健康機能を統合した学問領域を科学するため、幅広い基礎科目を基盤とし、多様な専門コア科目による教育を展開することにより、食の安全・健康上の問題解決力を備えた食品技術者・研究者・教育者・行政官となり得る人材育成を行う。

2. 教育目標

食品安全健康学科は、その人材養成目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。

- (1) 食の安全を、最新の技術を取り入れたリスク分析手法により解析し、客観的に評価できる能力を有する者。
- (2) 食の健康機能を、食品の生理活性成分と生体分子との関わりを通して解明することにより、生体影響を科学する能力を有する者。
- (3) 食の安全と健康機能において発生した問題点に対し、科学的視点からの評価、情報発信により問題を解決する能力を有する者。

3. アドミッションポリシー

食品安全健康学科は、生命に直結する「食の安全・安心」と「食の機能と健康」に興味を持ち、これを論理的に科学することで目の前のあらゆる困難な課題を解決する意欲を有し、将来、食品関連の技術者・研究者・教育者・行政官として指導的立場に立って活躍することを目指している人材を求めている。

- (1) 高等学校において化学及び生物学の授業を履修し、内容について十分に理解している人。また、語学においては文章の読解力、論理的な記述力を身に付けている人。
- (2) 主観的思考に捕らわれず、客観的事実を受け入れることにより事象における結果を判断できる人。
- (3) 「食の安全・安心」と「食の機能と健康」に普段から関心を持ち、未解決の課題に対し、自らが参加して解決したいという強い意欲を有する人。
- (4) 実験研究に興味があり、自らが中心となってその研究を実施する能力を有し、結果を社会に向けて発信できる人。

4. カリキュラムポリシー

食品安全健康学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、以下の専門科目を配置し、これに従い教育を行う。

- (1) 食の安全と健康機能の研究に必要となるしっかりとした学問的基盤のうえで論理的思考能力を修得させるための科目。

- (2) 豊かな語学力を身に付けさせ、さらには、ドメスティックな視点にとどまらずグローバルな観点から専門領域を理解していくための科目。
- (3) 食品素材を探究する農学を活かし、食品学を基盤とした食に対する深い理解力・洞察力を養うための科目。
- (4) 食の安全と健康機能を理解するため、生体環境を考慮した健康科学に安全学を融合させた新たな学問領域を構築していくための科目。
- (5) 先端的課題を題材とすることで、これに対する問題解決力を養い、論理的な思考をもとに表現し、社会に対する情報発進力を育成するための科目。

5. ディプロマポリシー

食品安全健康学科は、食の安全と健康機能の専門領域における確かな知識と技術、研究能力を修得し、食の安全と健康機能上の問題解決力を身に付けている学生で、以下の要件を満たしかつ、所定の単位を取得した学生に対し、学位を授与する。

- (1) 食の安全と健康機能の研究に必要なとなる論理的思考を展開する上での基礎科学の知識と、それぞれの領域における専門知識や研究を遂行するための技術を修得している。
- (2) 実験的検証をもとに得られた科学的知見から、論理的に思考することで客観的に事象を捉え、第3者に対して的確に説明する能力を修得している。
- (3) 忍耐強い観察力により解決すべき問題点を明らかにし、周りとの協調性と自らの積極性、さらには、幅広い専門知識から来る高い論理性を持って、その解決を図る能力を修得している。
- (4) 社会で必要とされる忍耐強い問題解決力、企画・提案力、プレゼンテーション能力を身に付け、広範な分野において活躍できる能力を修得している。